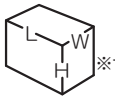
二輪車用制御弁式鉛蓄電池（シールタイプMFバッテリー）取扱説明書

					他社製バッテリー互換表		
商品番号	L	W	H	弊社形式名	GSユアサ	古河電池	旧GS
05-11-0013	81	77	104	JB2.5L-C	YB2.5L-C	FB2.5L-C	YB2.5L-C
05-11-0014	113	38	87	JT4B-BS	YT4B-BS	FT4B-5	GT4B-5
05-11-0015	114	49	86	JTR4A-BS	YTR4A-BS	FTR4A-BS	GTR4A-5
05-11-0016	114	71	87	JTX4L-BS	YTX4L-BS / YT4L-BS	FTH4L-BS / FT4L-BS	GT4L-BS
05-11-0018	114	71	109	JTX5L-BS	YTX5L-BS	FTX5L-BS	GTX5L-BS
05-11-0019	114	71	131	JTX7L-BS	YTX7L-BS	FTX7L-BS	GTX7L-BS



※サイズは多少前後します。

■ バッテリー保証書　本書未記入のものは無効です。

本書はご購入日から保証期間中に製造上あるいは材料上の不具合によって使用不能となった場合、点検・調査の上「保証条件」に従って交換させて頂きます。詳細については「保証条件」をお読み下さい。

■ 保証の期間：6ヶ月又は5000km（ご購入後どちらかが早く到達するまで）

バッテリー交換時メーター積算計（ODOメーター）	車両メーカー・車種
km	

販売店記入欄

バッテリー形式	販売年月日
	年　月　日

販売店名・住所・電話番号
印

不具合発生時メーター積算計（ODOメーター）	不具合発生時期
km	年　月　日

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒584-0069　大阪府富田林市錦織東 3-5-16
[TEL] 0721-25-1357(代)　[FAX] 0721-24-5059
[URL] www.takegawa.co.jp

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

この度は、弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。バッテリーを正しくお取り扱い頂くために、バッテリーをご使用になる前や、点検の前に、本取扱説明書やバッテリー本体の注意表示をよくお読み下さい。
本取扱説明書はお読み頂いたあとも大切に保管して下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

○作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行って下さい。(火傷の原因となります。)
○作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品破損・ケガの原因となります。)
○製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
○バッテリー搭載されている物と同型式、同容量のサイズをご使用下さい。純正容量(車両で指定されているサイズ)以外でのご使用はご遠慮下さい。バッテリーの寿命が短くなります。

⚠警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

○技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。
（技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
○作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
○点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
○エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
○走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。）
○走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（事故につながる恐れがあります。）
○点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
○使用済みバッテリーはリサイクルされます、バッテリーご購入の販売店リサイクル業者等に引取りを依頼して下さい。一般ごみと一緒に捨てないで下さい。（引火爆発や火災の原因となります。）

■ バッテリー保証条件

■ 保証内容

当製品は厳密な品質管理、検査の上お届けしていますが、万一ご購入後、保証期限内に正常な使用状態で不具合が生じた場合、弊社で点検、検査の上、下記の条件により保証させて頂きます。

■ 保証の対象

製造上あるいは材料上の不具合により使用不能となったものに限る。（充電で回復する単なる放電状態は適応外です。）

■ 保証期間

保証期間はご購入日より起算した使用期間、あるいは累計走行距離のいずれかに早く到達した時とします。

■ 適用除外

保証期間内であっても下記の場合、保証は適用されません。
①保証書が無い場合。あるいは必要事項が記載されていない場合。
②単なるバッテリー上がりなど、充電により回復するもの。（但し充電により回復した場合の充電作業代は有料とする）
③天災、地異、火災、海難、動乱などによるバッテリーの破損ならびに故障。
④使用上の酷使、手入れ不十分、過失または事故によって生じた故障と認められる物、たとえば
A、電槽、あるいはふたの変形、破損した物。
B、電装品などの故障、欠陥によって生じた事故
C、ご購入後保管期間中、放電したまま放置した場合。
D、逆接続での取付け、充電されたもの
E、交通事故による破損、故障、機能低下の場合。
F、使用者がバッテリーを修理、改造した場合。
G、過負荷となるアクセサリーを使用した場合。
H、車両搭載のままご使用にならず自己放電、コンピューターメモリー負荷により放電した場合。
I、レースなどのスポーツ用途で使用された場合。
⑥車両自体の原因による場合たとえば、レギュレーターの設定電圧が基準値を超えて過充電となった場合。
⑦エンジン始動以外の用途に使用したり適合外の車両に使用した場合。
⑧保証書記載以外の車両に載せ替えた場合。
⑨バッテリーの純正搭載位置、配線、充電装置（ステーター）などに改造が加えられた車両で使用された場合。
⑩不具合の車両がチェックできない場合。
⑪所有者が変更となった場合。

2021.10.15

■　バッテリーの安全な取り扱い

●バッテリーは、子供に触れさせないで下さい。
●バッテリーからは水素ガスが発生（特に充電終期）します。引火爆発の原因となりますので、バッテリーの近くに火気（マッチ、ライター、タバコなどの火、溶接機やグラインダなどの火花、端子部のスパークなど）を近づけたり発生させたりしないで下さい。
●バッテリーを密閉された環境で使用しないで下さい。引火爆発の原因となります。
●このバッテリーはオートバイなどのエンジン始動用および点灯以外にはご使用にならないで下さい。
●バッテリーを転倒させたり、衝撃をあたえたりしないで下さい。電解液が漏れ失明ややけどの原因となる事があります。
●バッテリーを水や海水のかかるような環境で使用しないで下さい。バッテリーの破損や火災の原因となる事があります。

■　使用前のバッテリーの取り扱いと点検

●この項の内容は取り扱い手順にしたがって説明しております、必ずお読みくださるようお願い致します。

■　開梱前後の取り扱いと点検

●バッテリーは電槽にヒビ、割れ、欠け、変形、異臭がないことを確認し投げたり、落下させたり、倒したりしないよう丁重に取り扱い下さい。
●開梱後、バッテリーの外観を点検し、電槽にヒビ、割れ、変形、異臭がないことを確認して下さい。
異常が認められた状態で使用されますと車体を傷める等、漏電し、火災の原因となることがあります。
●バッテリーは重量物です。ケガの原因となる事があります、落下などに注意して下さい。

■　バッテリーの清掃

●バッテリーを使用する前に必ず排気口のゴミやほこりなどを取除いて下さい。
●ゴミやほこりなどで排気口が詰まった状態のまま注液、充電、車両への取り付けを行うと電槽が破裂し、失明、やけどや車両などを腐食する原因となります。

■　充電

● 液入り充電済みバッテリー電圧が12.0Ｖ未満の場合はバッテリーに示す充電電流と充電時間で充電を行って下さい。

■　バッテリーの持ち運び

● バッテリーは倒した状態で運ばないで下さい。バッテリーの底を持ち水平にして持って下さい。

■　バッテリーの取り外し、取り付け

●バッテリーの取り外し、取り付けは、必ずエンジンを止めキーを抜いて下さい。振動などで動かないよう車両にしっかりと取り付けて下さい。古いバッテリーを取り外すときは必ずアース側（－端子）から始め、新しいバッテリーの取り付けは（＋端子）から始めて下さい。また、絶対に逆接続しないよう、注意して取り付けて下さい。（取り付け後は端子部に錆止めの為グリースを塗布して下さい）

※バッテリーによってはファストン端子の物もありますので、車両側カプラにしっかりと取り付けて下さい。

●バッテリーの取り扱い方法や危険性を充分理解していない者（子供など）に取り外し、取り付けをさせないで下さい。
●バッテリーを取り付ける際、金属工具などによって＋と－を接触させないで下さい。ショートの火花により引火爆発の原因となります。
●バッテリーの取り外し、取り付けは必ずエンジンを止めキーを抜き、ライトなどのスイッチがON（入）の状態では行わないで下さい。引火爆発の原因となることがあります。
●バッテリーの端子は＋と－を間違わないよう注意し、確実に車両のリード線に取り付けて下さい。電気回路の故障や配線の焼失、引火爆発の原因となります。
●バッテリーは、振動などで動かないよう車両にしっかりと取り付けて下さい。
●バッテリーは、搭載されているものと同等の形式、容量のものと取り換えて下さい。取り換えを誤るとバッテリー内部が破損し、爆発の原因となることがあります。
●バッテリーは端子位置の異なるものと取り換えないで下さい。接続を誤ると、配線の損傷や、車両火災の原因となることがあります。

■　始動

●車両への取り付けが完了したらエンジンを始動して下さい。なお、セルモーターでの始動操作は５秒以内とし、１回で始動しない場合は10秒以上休止後、再び始動操作を行って下さい。ただし、この操作を数回行っても始動しない場合は、バッテリーや始動回路などを調べて下さい。
最初の始動はキックのついている車両ではキックスタートをおすすめします。（バッテリーを長持ちさせる秘訣です）

■　使用中の点検

■　液面点検･補水は不要です

●このバッテリーは電解液面点検・補水はできない構造になっています。密封栓を外しての補水は、短寿命となるほか液もれの原因となりますので絶対に行わないで下さい。

■　端子

●バッテリーは常に清潔にして下さい。電解液が付着していると車体、端子およびケーブルなどが腐食します。腐食を発見したら直ちに水で洗い乾燥させた後、グリースなどを塗布して下さい。ボルト、ナットの腐食の甚だしい場合は新品と交換して下さい。
●バッテリーの端子を改造しないで下さい。引火爆発や液もれの原因となることがあります。
●バッテリーの端子に直接電気機器を接続しないで下さい。配線が焼損し、車両火災の原因となることがあります。

■　補充電

●エンジンが始動しなかったり、ホーンの音が弱かったり、ウインカーが点滅しないなどの場合は、バッテリーが放電していますので、要項表もしくは、バッテリーに示す充電電流と充電時間で補充電を行って下さい。放電したまま放置すると使用出来なくなります。
※ＶＲＬＡ（制御弁式）バッテリーの充電は、ＶＲＬＡバッテリー対応充電器で行って下さい。

●充電器は、電源がOFF（切）になっていることを確かめてからバッテリーへ接続して下さい。ON(入)の状態でバッテリーに接続するとスパークが発生し、引火爆発の原因となります。
●充電は風通しの良いところで行い、火気を近づけないで下さい。引火爆発の原因となります。
●充電器の＋側とバッテリーの＋端子側、充電器の－側とバッテリーの－端子を接続して下さい。接続を誤ると電気回路の故障や配線が焼損する原因となります。
●車両に取り付けた状態でのCTEK以外の充電器による充電は行わないでください。バッテリーの引火爆発や車両機器の損傷の原因となることがあります。
●補充電は要項表もしくはバッテリーに示す充電電流と充電時間を守ってください。液もれや引火爆発の原因となることがあります。

■　バッテリーの寿命

●バッテリーは使用中にその容量が徐々に低下し、寿命となります。補充電しても性能が回復しないものは寿命です。
○寿命は、次の要因によって短縮されます。
・高温（エンジンからの熱などの環境温度）
・使用頻度（使用が少なすぎても、多すぎても影響を受ける）
・充電不足（発電機の故障などによる供給不足、使用頻度が少なく充電不足など）
・苛酷な使用（寒冷地での多用、充電不足での使用など）
・保守の不備（端子部分の緩みによる接触不良、ランプ類の消し忘れ等によりバッテリー上がりした場合）
・過剰な充電（レギュレータの故障、完了時点を過ぎても充電を終了しないなどで充電し過ぎた場合）

●寿命末期には次のような兆候が起こります。
・スターターモーターの回転音がいつもより低く、弱い。
・方向指示器の動作が遅い、暗い、点灯したままになる。

これらの兆候が現れたときは、「補充電」の項にしたがいバッテリーを充電して下さい。補充電後も兆候がなくならない場合は、バッテリーの交換をおすすめ致しますので、新たにオートバイ用バッテリーをお買い求め下さい。

■　使用済バッテリーの取り扱い

■　使用済バッテリーはリサイクルされます。リサイクル推進にご協力下さい。

●ご不要になった使用済バッテリーを放置したり、一般のゴミと一緒に捨てないで下さい。
　バッテリー廃棄専門業者又はバッテリーをご購入された販売店等にて引き取りをご依頼下さい。
●使用済みバッテリーには金属工具などにより＋－を接触したり火気を近づけたりしないで下さい。
　引火爆発や火災の原因となります。

■　その他の取り扱い

■　使用しない場合、使用頻度が少ない場合

●車両を一定期間使用しない場合は、バッテリーを車両から取り外し、要項表もしくはバッテリーに示す電流で補充電した後、換気がよく火気のない、子供の手の届かない場所に保管して下さい。
※この場合、１カ月毎の補充電をおすすめします。

■　要項表

バッテリーの電圧は全て12V

商品番号	弊社形式名	容量（Ah）	充電電流（A）	充電時間（H）
05-11-0013	JB2.5L-C	2.5	0.25	5～10
05-11-0014	JT4B-BS	2.5	0.25	5～10
05-11-0015	JTR4A-BS	2.5	0.25	5～10
05-11-0016	JTX4L-BS	4.2	0.4	5～10
05-11-0018	JTX5L-BS	5.0	0.5	5～10
05-11-0019	JTX7L-BS	7.0	0.7	5～10

■　弊社取扱い推奨充電器

CTEK充電器は全世界で150万台以上(2011年4月現在)の販売実績を誇り、その高性能と信頼性からヨーロッパを中心とした多くの自動車メーカーから使用を推奨されている“世界最高峰のフルオートバッテリー充電器”です。各種オートバイ用12Vバッテリーの充電だけの使用では無く、特許技術のフルオート充電（パルスメンテナンス）により、シーズンオフや長期にわたり車両を始動させない場合でも常に満充電をキープすることが出来ます。これにより、バッテリー上がりによるバッテリーの損傷、及び劣化によるトラブルを事前に防止し、安心して車両の保管を行えます。

	型番	商品番号
CTEK バッテリーチャージャー	XS0.8JP	08-02-0032

■　安全な取り扱いのためのお願い

●表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害の程度を表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

■エンジン始動・点灯などの車両負荷以外使用しない
液もれや焼損、引火爆発の原因となります。

■火気を近づけない
バッテリーから水素ガスが発生するので引火爆発の原因となります。
火気禁止

■金属工具などで端子と端子を接触（ショート）させない
スパークにより引火爆発や火災の原因となります。

■爆発注意
正しいご使用方法、取り扱いメンテナンスなど取扱説明書をよくお読みになってからご使用下さい。

■電解液が口に入るか飲み込んだ時の処理
直ちに多量の水でうがいを繰り返し多量の飲料水を飲み速やかに医師の治療を受けて下さい。

■目に電解液が入った時の処理
直ちに多量の水で洗眼し、速やかに眼科医の治療を受けて下さい。

■取り扱い時は保護めがねゴム手袋を着用
電解液により失明ややけどの原因となります
メガネ着用

■こども禁止
こどもや取り扱い方法、危険を十分理解していない者に触れさせない。
こども禁止

■使用済バッテリーの取り扱いに注意
電気エネルギーが残っているのでこどもが触れる場所に保管しないで下さい。そのまま廃棄せずご購入店に引取りを依頼して下さい。

■充電器の使用は正しく行う
取り扱いを誤ると引火爆発や火災、車両機器の損傷の原因となります。充電器の取扱説明書に従い正しく充電して下さい。

■端子の取り付け金具は確実に固定する
取り付けが緩い状態や腐食した状態で使用するとスパークにより火災の原因となります。

■密閉された場所で使用しない
バッテリーから水素ガスが発生するので引火爆発の原因になります。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。

■バッテリーの交換は正しい順序で行う
順序を誤ると引火爆発の原因となります。

■端子への取り付けは＋と－を逆にしない
電子部品の破損、焼損や火災の原因となります。

■バッテリーを車両に取り付けたまま、充電しないで下さい
引火爆発や車両機器の損傷の原因となります

■バッテリー端子の改造禁止
液もれや火災、引火爆発の原因となります。

■電気機器の直接接続禁止
配線が焼損し火災の原因となります

■静電気に注意
乾いた布などで清掃したり帯電した身体で取り扱うと引火爆発の原因となります。

■異臭、液もれ、変形がしているまま使用しない
乾いた布などで清掃したり帯電した身体で取り扱うと引火爆発の原因となります。

■皮膚・衣服に電解液が付着した場合
直ちに多量の水で洗い流し、石鹸で十分に洗って下さい。やけど、衣服の損傷の原因となります。

■バッテリーを落としたり倒したりしない
液もれにより、失明ややけど、けがの原因となります。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険が想定される場合、並びに物的損害のみの発生が想定される場合。

■バッテリーは重量物取り扱い注意
横倒し、落下などによるけがや液もれの原因となります。

■密封栓を取り外さないで下さい
バッテリーの性能低下や寿命を著しく低下させる原因となります。

■電解液の取り扱い注意
内部電解液（硫酸）は大変危険な為、密封栓を外したりしないで下さい。

■車両に電解液が付着した時の処置
直ちにウエスなどでふき取った後に、水で洗い流して下さい。

■床や地面に電解液がこぼれた時の処置
重炭酸ソーダー（重曹）などを泡が出なくなるまで散布した後、多量の水で洗い流して下さい。

■蓋を開けないで下さい
VRLA（制御弁式）バッテリーは電解液の補充は必要ありません。

お守りいただく内容の種類を以下の表示で区分し、説明しています。

⃠	禁止の行為を告げる絵表示です。
⚠	「危険」「警告」「注意」を促す内容がある事を告げる絵表示です。
❗	行為を強制したり、指示したりする内容を告げる絵表示です。